



### ▶ 三井住友銀行（SMBC）本店での研修

9月26日（木）海外派遣研修の事後研修として、海外派遣メンバー20名が三井住友銀行を訪問しました。プログラムの初めに株式会社三井住友銀行の名誉顧問北山氏より御挨拶いただきました。北山氏は本校卒業生であり、如蘭会副会長でもあります。北山氏からは、前回の東京オリンピック時に高校3年生だったことや当時の日比谷高校の様子、理事長を務めていた日本アспен研究所のこと等についてお話をいただきました。



御挨拶の後、「金融機関を取り巻く環境」「グローバル人材の育成について」「テクノロジーの考え方」などの内容についてレクチャーを受けました。「金融機関を取り巻く環境」については、マイナス金利の長期化やデジタル技術の進化、金融ニーズの高度化・多様化など日々の変化が激しい中、環境の変化に応じて会社も変化し、自分達が変化の先頭に立つことを意識しているというお話がありました。「グローバル人材の育成」については、グローバルバンクへと変化する中で英語力強化を進めているということでした。英語力強化のために人事異動で海外経験者を増やすことや、海外大学へ社員を派遣することを実施しているそうです。本校の海外研修にも触れていただき、高校生のうちに海外を経験できるのは非常に貴重な経験であるというお言葉をいただきました。「テクノロジーの考え方」については、2030年には多くの仕事がAIに置き換わることが予想されているというお話があり、正解が決まっているものはAIに変わっていくだろうが、問いを立てることは人間にしかできない、18歳までに多様なものに触れて豊かな感性を育ててください、といったお話をいただきました。

### ▶ 10月27日（日）G10 -OBOGとの交流会-

日比谷高校にG10のOBOGが集まり、現役生徒の交流会が行われました。この企画はG10の第1期生、第2期生の先輩方が中心となり、次の目的で開催されています。

- ① G10活動の一連の学び（事前・事後指導や海外研修など）をより充実したものにすること。
- ② G10の学びを持続させ、今後の成長につなげること。
- ③ 次年度参加希望生徒も一緒にワークショップを実施し、学びの様子を伝達すること。

OBOGの先輩方が大学生活送る中で、改めてこのG10活動の有益性を感じ、現役生がこの学びを昇華していくことを手助けしたい、との思いからこの企画がスタートしています。活動は「食料問題解決の提言（プレゼンテーション）」を実施するまでの過程を振り返りながら行われました。「研修参加前後の自己の変化」や「課題解決のために有効な提案をする上で重要な要素」などについてディスカッションしました。1年生も合唱祭や星陵祭への取り組みに置き換えながら、一緒に考えを深めていきました。

### ▶ 10月21日（月） 校内英語ディベートセミナー

参加者：生徒 42名、教員 6名

ジャッジ：PDA スタッフ、早稲田大、立教大、一橋大、東京農工大

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

日比谷高校での即興型英語ディベート体験会も今年で6年目になります。例年意欲的な参加者が多く、今回も開始前から大会議室は熱気に包まれました。はじめに、PDA スタッフより即興型英語ディベートの説明が行われました。モデルディベートを見て流れを把握し、フローシートの重要性およびその書き方を学びました。説明の後、早速ディベートを実践しました。英語を話すことに比較的慣れている生徒も少なくない中で1ラウンド目の実践をしましたが、スピーチの組み立てに苦戦している生徒も多く、スピーチの途中で諦めそうになってしまう場面もありました。スピーチを終えた後はジャッジのリフレクションを真剣に聞いていました。続く2ラウンド目では、1ラウンド目のジャッジからのアドバイスをスピーチに活かし、前のラウンドに比べて、ほとんどの生徒の構成力が向上しました。

【参加者の声（アンケートより抜粋）】

- ・1 回目は時間の半分ほどで準備していた内容を話し終えてしまって、英語で話す難しさを痛感した。2 回目では1 回目と比べものにならないくらいグループ内で強い論が構築できてとても楽しかった。
- ・ディベートという形で、いつも学習している英語を実践的に使う機会を得られてよかった。また、論の組み立て方についてジャッジの方からたくさんアドバイスをいただき、大変参考になった。
- ・最初はとても緊張したが、ジャッジや先生からのコメント等がとてもためになり、1 ラウンドから2 ラウンドで良い改善できたのを感じた。授業でのディベートでも活かしたいし、来年もこのような機会があればぜひ参加して、さらに力を伸ばしたい。
- ・「不安、緊張」と書きましたが、大変貴重な体験をしているというドキドキ感にも溢れていました。自分の考えをまとめ、即興で相手の反応に応える難しさには心折られそうですが、先生が指摘してくださった点を改善し、より自分の心の中の声を英語という言葉でうまく表せるようになりたいです。

◆ エッセイコンテスト優秀賞受賞！！

「第5回京進エッセイコンテスト」において、本校生徒が英語エッセイ部門の優秀賞に選ばれました。11月17日（日）、京都市内のホールにて表彰式が行われます。

受賞生徒は、昨年度のG10「ボストン・ニューヨーク研修」の一員で、PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会に出場するなど、日ごろから幅広い視野と高い教養を身につけ、国際感覚を磨いてきました。Harvard Prize Book（世界の優秀で国際性豊かな高校生に対し、Harvard 大学の卒業生が作る Harvard Club から贈られる賞）も受賞しています。3年生になってもこのような課外活動に意欲的に取り組んでいることは、大変素晴らしいですね！！

ご案内

外務省企画

「日系アメリカ人 栄光の苦難の歴史を語る」

日比谷高校開催！

外務省からの案内文

この度、外務省ではアメリカより日系アメリカ人の方々をお呼びして、日系の移住者の方々が乗り越えてきた歴史や、アメリカ社会で勝ち得た信頼を語ってもらう事業を実施します。

太平洋戦争中、強制収容所に移された方々、アメリカ兵としてヨーロッパ戦争で戦われた方々、そして、その後のアメリカ社会で生き抜いてこられた方々。こうした方々の歴史を、日系アメリカ人の「語り部」の方々に英語で語ってもらいます。

【講師プロフィール】

アン・シモジマ氏（シカゴ総推薦）

肩書き：ストーリーテラー（プロの語り部）

経歴：

シカゴ生まれの日系3世語り部

1982年からプロの語り部として、子供から大人までを対象にフェスや学校、図書館、美術館、会議など様々な場面で語り部として活躍。収容所を含む在米日系人の辿った歴史の講話を続けている。2017年の全米語り部フェスでは同氏の講話はスタンディングオベーションを受けるなど米国内で高い評価を受けた。

実施日：11月18日（月）

時間：15時30分～17時

実施場所：2F大会議室

申し込み：大会議室前の名票に記名する  
予定数になり次第、募集終了

使用言語：英語